

## 東京都写真美術館(1)

事業名	会期	概要
「写真発祥地の原風景 長崎」展	平成30年3月6日～ 5月6日	写真発祥地の長崎を捉えた初期写真を中心に、幕末・明治の姿を再構築する連続展の第一弾として、また、明治改元150周年を記念して開催。開国期に渡来した写真は、近代化を捉え、現代に伝えています。本展は、 <b>初期写真だけでなく古地図や絵画・工芸などのオリジナル作品・資料や投影画像・拡大地図等を併せて展示し、幕末・明治の「異域」長崎を多元的に再構築します。</b>
「『光画』と新興写真 モ ダニズムの日本」展	平成30年3月6日～ 5月6日	1930年前後、日本の写真界において盛んであった新興写真に注目した展覧会です。新興写真とは、ドイツの「新即物主義」やシュルレアリスムなどの影響を受け、それまでのピクトリアリズム（絵画主義写真）とは異なり、カメラやレンズによる機械性を生かし、写真でしかできない表現をめざした動向です。 <b>『光画』に掲載された写真を中心に、新興写真に影響を与えた海外写真家の作品とその後の写真表現を展覧します。</b>
「TOPコレクション たのしむ、まなぶ イン トウ・ザ・ピクチャーズ」展	平成30年5月12日～ 8月5日  21時まで特別開館： 7月19日、20日、26 日、27日、8月2日、3 日	本展は、毎年一つの共通テーマで、東京都写真美術館のコレクションを二期にわたって紹介する展覧会シリーズです。平成30年度は <b>美術館としての学びや作品鑑賞の多様なあり方を考えることをテーマに</b> 、34,000点を超えるコレクションの中から、様々な時代、国の作品を紹介します（出品予定作家：植田正治、北井一夫、木村伊兵衛、森山大道、アンリ・カルティエ＝ブレッソン、ロベール・ドアノー、ダイアン・アールバス、ゲイリー・ウィノグラッド 他）。
「内藤正敏 異界出現」 展	平成30年5月12日～ 7月16日	<b>写真家・民俗学者であり、修験道や東北地方の民間信仰をテーマとした写真集・著述で知られる内藤正敏の個展。</b> 100点余りの当館の収蔵作品を含め、1960年代の初期作品から2000年代初めまでの代表的な作品シリーズによって、その足跡をたどり、他に類を見ない独自の宇宙観・生命観に基づいた写真表現の全貌に迫ります。
「杉浦邦恵 うつくしい実 験／ニューヨークの50 年」展	平成30年7月24日～ 9月24日  21時まで特別開館： 7月26日、27日、8月2 日、3日、9日、10日、 16日、17日、23日、24 日、30日、31日	杉浦邦恵の約50年にわたる活動の軌跡を紹介する個展。杉浦は1963年、20歳で単身渡米し、シカゴ・アート・インスティテュートで写真を学び、現在に至るまでニューヨークを拠点に活動してきました。本展では、コラージュや、カメラを使わずに写真を制作するフォトグラムのほか、様々な素材を組み合わせる実験的な作品を通して、 <b>写真というメディアの多様性にいち早く注目した杉浦の表現の変遷を紹介します。</b>
「TOPコレクション たのしむ、まなぶ 夢のか げら」展	平成30年8月11日～ 11月4日  21時まで特別開館： 8月16日、17日、23 日、24日、30日、31日	<b>美術館としての学びや作品鑑賞の多様なあり方を考えることをテーマに</b> 、コレクションを二期にわたり紹介するシリーズの第2期。34,000点を超える当館のコレクションの中から、鑑賞者の好奇心をかきたて、遊び心をふくらませる魅力的な作品を紹介します。

※この内容は平成30年3月7日現在のものです。事業名は変更する場合がございます。会期は予定です。  
詳細は東京都写真美術館広報担当までお問い合わせください。

### <お問い合わせ先>

東京都写真美術館

〒153-0062 目黒区三田1-13-3

電話 03-3280-0099 FAX 03-3280-0033

<http://www.topmuseum.jp>

※開館時間：10時～18時（木曜日・金曜日は20時まで、夏休み期間の木曜日、金曜日は「サマーナイトミュージアム」実施のため21時まで開館）

※休館日：毎週月曜日（祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館）、年末年始、臨時休館日

## 東京都写真美術館(2)

事業名	会期	概要
「マジック・ランタン 光と影の映像史」展	平成30年8月14日～ 10月14日  21時まで特別開館: 8月16日、17日、23 日、24日、30日、31日	本展では映像の歴史を、 <b>プロジェクション(イメージを投影すること)の歴史という視点から見直し</b> 、映像史の新たな側面を照らし出すことを試みます。東京都写真美術館が所蔵する、初期映像史に関する豊富なコレクションの中には、 <b>マジック・ランタンと呼ばれる最初期のプロジェクター</b> や、映画の誕生以前に生まれた数々の映像装置や資料が含まれています。 <b>プロジェクションという文化を、国内外の作品・資料から通史的に紹介し、映像文化の過去から現在を考察します。</b>
「愛について アジアン・コンテンポラリー」展	平成30年10月2日～ 11月25日	発展と変容が著しいアジアに対して、現代写真や美術の世界でも熱い視線が向けられてきています。当館では、アジアにおける写真美術館の拠点機能を果たすため、継続的にアジアの作品を取り上げます。第一弾として、 <b>女性作家を中心に、変容著しいセクシュアリティやジェンダーに焦点を当て、アジアの現在の一面を照らす展覧会を開催します</b> (出品予定作家:キム・インスク〈韓国〉、キム・オクサン〈韓国〉、ホウ・ルル・シュウズ〈台湾〉、チェン・ズ〈中国〉他)。
「建築×写真」展	平成30年11月10日～ 平成31年1月27日	「建築写真」というと、一般的に構造物そのものの記録性や意匠が重視され、撮影した写真家の作家性が問われることは多くありません。しかし、写真家が建築の本質と立ち向かい、独自の視点から撮影した写真も多数存在しており、建築の隠れた魅力を認識させられます。 <b>本展覧会は、優れた写真家の眼を通して生み出された建築写真の多彩な表現を紹介します</b> (出品予定作家:渡辺義雄、石元泰博、宮本隆司、村井修、柴田敏雄 他)。
「日本の新進作家vol.15」 展	平成30年12月1日～ 平成31年1月27日	当館は、写真・映像の可能性に挑戦する創造的精神を支援し、将来性のある作家を発掘することで、新しい創造活動の場となるよう、様々な事業を展開しています。その中核となるのが、毎回異なるテーマで開催している「日本の新進作家」展。シリーズ15回目となる本展では <b>自らのアイデンティティやリアリティを手がかりに制作する、近年活躍の著しい新進作家を紹介します</b> (出品予定作家:森栄喜、ミヤギフトシ、細倉真弓 他)。
「第11回恵比寿映像祭」 【アーツカウンシル東京 事業】	平成31年2月8日～ 2月24日  20時まで特別開館	映像分野における創造活動の活性化と、優れた映像表現を過去から現在、そして未来へと継承し、様々なジャンルとの対話を促す「恵比寿映像祭」。第11回目となる本展は、展示、上映、トーク・セッションなどを複合的に行います。 <b>また国内外の美術館、関係機関、近隣との連携を深めながら、映像表現、視覚芸術の多様性を恵比寿・写真美術館から発信します。</b>
「写真の起源 英国編」展	平成31年3月5日～ 5月6日	写真発祥国のひとつである英国の初期写真が一堂に会する展覧会。当館のコレクションに加え、世界最古の写真協会であるロイヤル・フォトグラフィック・ソサエティのコレクションを有するヴィクトリア&アルバート美術館やスコットランドの初期写真を所蔵するセント・アンドリューズ大学の貴重なコレクションなど、 <b>関係機関の協力を得て日本未公開の初期写真を多数公開し、ヴィクトリア時代の英国から写真文化の起点を考察します。</b>

※この内容は平成30年3月7日現在のものです。事業名は変更する場合がございます。会期は予定です。  
詳細は東京都写真美術館広報担当までお問い合わせください。

### <お問い合わせ先>

東京都写真美術館

〒153-0062 目黒区三田1-13-3

電話 03-3280-0099 FAX 03-3280-0033

<http://www.topmuseum.jp>

※開館時間: 10時～18時(木曜日・金曜日は20時まで、夏休み期間の木曜日、金曜日は「サマーナイトミュージアム」実施のため21時まで開館)

※休館日: 毎週月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始、臨時休館日

## 東京都写真美術館(3)

事業名	会期	概要
「志賀理江子 兄ちゃんの春」展	平成31年3月5日～5月6日	国内外で高い注目を集める作家・志賀理江子の新作個展。ロンドン東部の団地住民を被写体とした〈Lilly〉及び、オーストリア、仙台等で制作した〈Canary カナリア〉を収録した初写真集で第33回木村伊兵衛賞を受賞。その後、宮城県北釜地区で被災した経験を表現に昇華した「螺旋海岸」他、独自のフィールドワークから視覚化された作品により国際的な評価が高まっています。本展では、志賀自身の <b>数々の経験を基にした新作を紹介し、経験や記憶、歴史・社会との関係性を考察します。</b>

※この内容は平成30年3月7日現在のものです。事業名は変更する場合がございます。会期は予定です。  
詳細は東京都写真美術館広報担当までお問い合わせください。

### <お問い合わせ先>

東京都写真美術館

〒153-0062 目黒区三田1-13-3

電話 03-3280-0099 FAX 03-3280-0033

<http://www.topmuseum.jp>

※開館時間: 10時～18時(木曜日・金曜日は20時まで、夏休み期間の木曜日、金曜日は「サマーナイトミュージアム」実施のため21時まで開館)

※休館日: 毎週月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始、臨時休館日